

## 化学物質等安全データシート(SDS)

## 1 化学物質等及び会社情報

化学品の名称	
製品名	スミナックス
会社情報	
会社名	日本スレッド株式会社
担当部署	管理本部
住所	〒105-0002東京都港区愛宕1-6-8
電話番号	03-6759-9461
ホームページ	<a href="http://www.reterra.jp/">http://www.reterra.jp/</a>
メールアドレス	<a href="mailto:y.tsunematsu@jthread.tokyo">y.tsunematsu@jthread.tokyo</a>
推奨用及び使用上の制限	凝集剤

## 2 危険有毒性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	火薬類 可燃性・引火ガス 可燃性・引火エアゾール 支燃性・酸化性ガス 高压ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体 自然発火性固体 自然発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性液体 酸化性固体 有機過酸化物 金属腐食物質	分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 区分2 分類対象外 分類対象外 区分外 区分外 区分外 区分外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 区分1
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入:気体) 急性毒性(吸入:蒸気) 急性毒性(吸入:粉塵) 急性毒性(吸入:ミスト) 皮膚腐食性・刺激性 目に対する重篤な損害・目刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変位原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) 特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露) 吸引性呼吸器有害性	区分5 区分4 分類対象外 分類対象外 区分4 分類対象外 分類対象外 区分2 分類対象外 分類対象外 分類対象外 区分1 分類対象外 区分1(呼吸器系) 区分1(呼吸器系腎臓) 分類対象外
環境に対する有害性	水生環境急性有毒性 水生環境慢性有毒性	分類対象外 分類対象外

ラベル要素  
絵表示



注意喚起語  
危険性有害情報

危険  
飲み込むと有害のおそれ  
皮膚に接触すると有害のおそれ  
眼への刺激のおそれ  
吸入すると有害  
発がんのおそれ  
呼吸器系への障害  
眠気またはめまいのおそれ  
長期または反復暴露による呼吸器系、腎臓の障害

注意書き  
(安全対策)

熱、火花、裸火、高温のものの着火源から遠ざけること。  
必要に応じて保護具や換気装置を使用し、粉塵の吸入、暴露を避けること。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
粉塵を吸入しないこと。  
保護手袋、呼吸器用保護具、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
取扱後はよく手を洗うこと。

(応急措置)

眼に入った場合は、速やかに流水で洗浄した後必要に応じて医療措置を受ける。  
皮膚に付着した場合は、水で洗い流す。  
吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移動し、鼻をかみ水でうがいをする。  
誤飲した場合は、多量の水または食塩水を飲ませ吐かせる。多量の場合は  
医師の手当てを受ける。

(保管、貯蔵)

換気のよい場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しい場所に置くこと。

(廃棄)

内容物と容器を都道府県の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

情報なし

3 組成及び成分情報

化学混合物の区別 混合物

組成及び成分情報

化学名または一般名	CAS番号	官報公示整理番号	濃度または濃度範囲(%)
天然ゼオライト	1318-02-1		10～30
ケイ素	7440-21-3	-	10～30
炭酸ナトリウム	497-19-8	(1)-164	10～20
炭酸カルシウム	471-34-1	(1)-122	10～20
硫酸アルミニウム	16828-11-8		5～20

4 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
症状が続く場合には医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合 速やかに水で洗い流し必要に応じて医師の診断を受けること。

眼に入った場合 速やかに清浄な水で洗眼した後、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合 多量の水を飲ませ吐かせた後、医師の診断を受けること。

予想される急性症状  
及び遅発性症状 吸入した場合 咳、咽頭痛  
皮膚に付着した場合 発赤  
眼に付着した場合 発赤 痛み

## 5 火災時の措置

消火剤	周辺火災に応じた消火剤を使用すること。
使ってはならない消火剤	特になし
特有の危険有害性	火災によって有害なガスを発生するおそれがある。
特有の消化方法	消化活動は風上から行なう。 火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。 周辺火災の場合は周辺の設備などに散水して冷却する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合は容器(袋)及び周囲に散水して冷却する。

## 6 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	漏洩区域は関係者以外の立入を禁止する。 漏洩区域に立入る時は保護具を着用する。 風上から作業をし粉塵、蒸気、ガスなどを吸入しない。 粉塵が飛散する場合は水噴霧して飛散を抑える。 密閉された場所に入る時は事前に換気する。
環境に対する注意事項 回収 中和	河川、下水道、土壤に排出されないように注意する。 漏洩物を掻き集め密封できる空容器に回収する。 漏洩物が飛散する場合は、水を散布し湿らしてから回収する。 回収した漏洩物は、後で産業廃棄物として適正に廃棄する。
封じ込め及び浄化の方法 機材	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	排水溝、下水道、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策 局所排気・全体換気	粉塵の発生を防止する。 必要に応じて局所排気又は全体換気を行う。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。 容器を落下させ衝撃を加え又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。 取扱い後はよく手を洗う。
接触回避	湿気、水、高温体との接触を避ける。
保管	
技術的対策 保管条件	保管場所は製品が汚染されないよう清潔にする。 直射日光や高温高湿を避ける。なるべく乾燥した場所に保管する。 容器を密閉して冷暗所に保管する。
容器包装材料	混触危険物、食料、飼料から離して保管する。 破損や漏れがなくできるだけ透湿性のない材質を使用する。

## 8 暴露防止及び保護装置

許容濃度	
管理濃度	0.06mg/m <sup>3</sup>
日本産衛学会勧告値	
許容濃度	吸入性粉塵 0.3mg/m <sup>3</sup> 総粉塵 1.2mg/m <sup>3</sup>
設備対策	室内で取扱う場合には、管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。
保護具	
呼吸用保護具	防塵マスク
手の保護具	保護手袋(ゴム製又はビニール製)
眼の保護具	保護メガネ(ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	保護長靴、保護衣

## 9 物理的及び化学的特質

物理的及び化学的性質の基本情報

外観	白色または灰色
臭い	特徴的な臭い
pH	5～7
溶解度	水にわずかに溶解
沸点	データなし
引火点	不燃性
爆発範囲	データなし
自然発火温度	不燃性

## 10 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下において安定である。 湿分(水)の存在下で硬化することがある。
危険有害反応可能性	フッ化水素酸及び強アルカリ溶液と反応する。
避けるべき条件	日光、熱、湿気
混触危険物質	強酸、金属マグネシウム、五酸化リン
危険有害な分解生成物	酸化カルシウム、二酸化炭素

## 11 有害性情報

### 成分の有害性情報

#### (1) 天然ゼオライト

急性毒性	情報なし
皮膚腐食性及び刺激性	人により、かぶれ、炎症を起こすことがある。
眼に対する重篤な損傷 性又は眼刺激性	人により、眼、皮膚に刺激する。
慢性毒性	長時間の塵の吸入は肺機能損傷の原因となる。

#### (2) ケイ素

急性毒性(経口)	区分外
急性J毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉塵)	分類できない
皮膚腐食性及び刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷 性又は眼刺激性	区分2B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

#### (3) 炭酸ナトリウム

急性毒性(経口)	区分5	飲み込むと有害のおそれ。
急性J毒性(経皮)	区分5	
急性毒性(吸入:ガス)	分類できず	
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できず	
急性毒性(吸入:粉塵)	区分4	
皮膚腐食性及び刺激性	区分外	
眼に対する重篤な損傷 性又は眼刺激性	区分1	
呼吸器感作性	分類できず	
皮膚感作性	分類できず	

生殖細胞変異原性	分類できず
発がん性	分類できず
生殖毒性	分類できず
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分3
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	分類できず
吸引性呼吸器有害性	分類できず
(4) 炭酸カルシウム	
急性毒性(経口)	区分外
急性「」毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉塵)	分類できない
皮膚腐食性及び刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷 性又は眼刺激性	区分2
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
(5) 硫酸アルミニウム	
急性毒性(経口)	区分外
急性「」毒性(経皮)	分類できず
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できず
急性毒性(吸入:粉塵)	分類できず
皮膚腐食性及び刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷	区分2
呼吸器感受性	分類できず
皮膚感受性	分類できず
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	情報なし
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし

---

## 12 環境影響情報

---

### 成分の環境影響情報

(1) 天然ゼオライト	
生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有毒性	情報なし

### (2) ケイ素

水生環境急性有毒性	区分外
水生環境慢性有毒性	区分外
オゾン層への有毒性	分類できない

(3) 炭酸ナトリウム

水生環境急性有毒性	区分外
水生環境慢性有毒性	区分外
オゾン層への有毒性	分類できない

(4) 炭酸カルシウム

水生環境急性有毒性	区分外
水生環境慢性有毒性	区分外
オゾン層への有毒性	分類できない

(5) 硫酸アルミニウム

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	加水分解により水酸化アルミニウムと硫酸となる
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有毒性	該当なし

---

### 13 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づいて廃棄する。 洗浄水、接触水などの排水は水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。
内容容器及び包装	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

---

### 14 輸送上の注意

国際規制	該当しない
国内規制	陸上輸送 該当しない
	海上輸送 船舶安全法の規制に従う。
	航空輸送 該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	取扱い及び保管上の注意を守り、包装袋の破袋及び水漏れに注意する。

---

### 15 適用法令

廃棄物の処理及び清掃に関する法律	該当
労働安全衛生法	粉塵障害防止規則に該当
じん肺法	該当
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
船舶安全法	該当しない
特定化学物質等障害予防規則	該当しない

---

### 16 その他の情報

中央労働災害防止協会安全衛生情報センター  
製品評価技術基盤機構(NITE)  
製造メーカーのMSDS等  
本SDSについて  
総ての資料や文献を調査した訳ではありませんので必ずしも十分な情報ではない可能性もあります。

---